



ういぼう



2017.10発行



常勤外科医が2人体制となりました

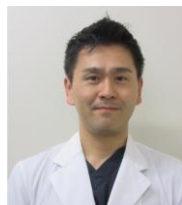
2017年8月より赴任しました外科の長谷川均と申します。滋賀医科大学を卒業したのち消化器外科講座に
入局しました。京都、大阪の関連病院勤務の後、旧国立八日市病院、甲南病院、日野記念病院と内陸の病
院勤務をし、琵琶湖大橋病院、能登川病院とJR沿線の病院に勤務させていただきご縁がありました。

能登川の消化器外科手術は空白の期間がありましたが、日野記念病院でご指導いただいていた前任の内
藤弘之先生のご尽力で手術室の体制が立て直され、能登川病院でも手術ができる体制が整いました。鼠径
ヘルニア、痔核、虫垂炎、胆のう結石症、胃がん、大腸がんなどの手術を行っています。各症例を診察検査し
たのち十分に検討し、患者様と相談の上、腹腔鏡下手術を含めた術式、治療方針を決定できるようにしてい
ます。

さらに、今年の6月に昴会(日野記念病院、湖東記念病院、能登川病院)に消化器センターが設立され、消
化器内科、消化器外科、放射線科、病理診断科、内視鏡センター、健診センターが一つになり症例を3病院で
検討、協力して対応できる体制となりました。さらに高度な医療が必要なときは滋賀医科大学との連携も可能
です。

まずは能登川地域の住民の方々にご頼っていただけるような外科を取り戻せるように、地域医療に微力なが
ら貢献し、皆様のご期待に沿えるよう日々精進して参りますので、何卒ご指導及びご協力のほどよろしくお願
い申し上げます。

外科 長谷川 均



眼科への患者様のご紹介 いつもありがとうございます

眼科の吉田です。昨年の4月に当院に赴任してから1年半が経ちました。今までの赴任先で、網膜硝子体
疾患を中心に、白内障、眼瞼、緑内障などの広い範囲に渡る疾患の診断・治療を研鑽して参りました。
今までの経験を生かして、東近江市を中心に湖東地域において、より高度の医療が提供できるように頑張っ
て参りたいと思っております。

近年の眼科医療において大きな進歩の一つに、病気の勢いを抑える薬を硝子体中に注射する治療法があ
ります。今までは失明に至ることが多かった加齢黄斑変性症、網膜静脈閉塞症、糖尿病網膜症に対して有効
な報告が多く出てきており、現にこの治療法のおかげで、当院でも失明に至らずに経過を見ている患者様も
多くおられます。新しく、非常に有効な治療法ではありますが、感染症や出血などの合併症の報告もあること
から滋賀県内でもこの注射を行う施設が少なく、今までは実際に治療を行うとすると、遠方の大病院に通わな
ければならないことも多かったのですが、数年前から当院でも始め、特に大きな合併症もなく、良好な結果が
でております。

新たな治療法や医療設備を導入し、より高度の治療が提供できるようになってきましたので、おかげさまで
外来患者数、手術件数が増加してきております。しかし、その分外来の待ち時間の短縮化や、手術を申し込
んでから実際に手術を受けていただくまでの待機日数の短縮化といった課題が出てきております。どう対処し
ていくか、新たな課題に真剣に頭を悩ませておりますが、早急に解決できるように頑張っておりますので、ご
不便をおかけしますが、よろしくお願い致します。

眼科 吉田 祐介

現在当院では改修工事を
行っておりますが、診察時間等
の変更はありません。

ご迷惑をおかけ致しますが
何卒よろしくお願い致します。

東近江市立 能登川病院(指定管理者 医療法人社団昴会)
地域医療連携室